

銘柄分析レポート：パッケージソフトの会社

1 はじめに

私はパッケージソフトの会社が好きです。なぜから、ものすごく儲かるからです。同じソフトウェアでも、受託開発の会社と比べてみれば一目瞭然です。

【パッケージソフト】

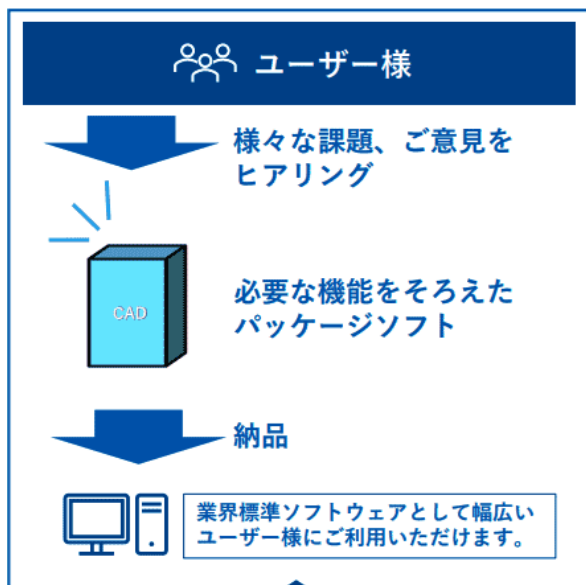
- 全ての顧客が同じものを使うレディメイド
- いくら売れようとも、開発費用は変わらない
- いったん損益分岐点を超えれば、それ以降はほぼ利益
- 特定分野で高シェアの製品は収益性が高い
- 売上高総利益率80%前後、営業利益率30%もざら

【受託開発】

- ほぼ全ての顧客で仕様の異なるオーダーメイド
- 開発費用は個別案件毎に発生
- 低収益案件、不採算案件が全体の足を引っ張る
- 大手の二次請けが多く、収益性はいまひとつ
- 営業利益率10%もあれば上出来

今回の銘柄分析レポートでは、パッケージソフトの会社から、個人的に注目している2銘柄を取り上げます。

パッケージソフトウェア開発のイメージ



受託開発のイメージ

